

<その他、取組に特徴のある事例>

○耕作放棄地の復旧、景観改善を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県東温市 <small>とうおんし</small> 音田 <small>おんだ</small>			
協定面積 10.0ha	田 (87%)	畑 (13%)	草地	採草放牧地
	水稻	野菜		
交付金額 185万円	個人配分			51%
	共同取組活動 (49%)	役員手当		2%
		農業生産活動費		8%
		鳥獣害対策費		9%
その他(耕作放棄地管理費)		30%		
協定参加者	農業者 23人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	作成していない			

2. 取組に至る経緯

音田集落は、東温市旧川内町大字河之内に位置し、先祖から受け継いだ水田農業を維持しながら、地域ぐるみで自然環境の保全を行い、地域の活性化を図ってきた。

平成8年から平成12年にかけて地域の基盤整備を行い、生産条件は格段に効率化されたが、農業従事者の高齢化、鳥獣による農作物被害の増加が深刻化してきていた。そこで、農業生産活動の維持及び耕作放棄地の防止のために第1期対策初年度(平成12年度)から中山間地域等直接支払制度に取り組んできた。

3. 取組の内容

当集落では、これまで共同取組活動として、農道水路の管理、周辺林地の下草刈り、鳥獣害防止対策として防護柵の設置、景観作物の作付けや耕作放棄地の復旧に集落全体で取り組んできており、協定面積も第2期対策から約2,000㎡増加させている。

また、平成24年度に農林水産省の耕作放棄地再生利用緊急対策実施要領に基づき、再生実施計画を策定し、耕作放棄地再生利用交付金を受けて集落内で高齢化や鳥獣被害により耕作放棄されていた土地(7筆・5,713㎡)を復旧させ、新たに協定農用地として加えた。

その他、景観づくりの一環として、ほたるの里づくり事業を行っている。



【耕作放棄地復旧作業】



【ほたるの里づくり活動】

【集落の将来像】

○地域の实情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備作りを行い、耕作放棄地の復旧や景観改善を目指す。



【将来像を実現するための活動目標】

○ 共同で支え合う集団的かつ持続的な体制整備作りを行うために、農業者の高齢化による耕作放棄地の防止のサポート体制を維持しつつ、耕作放棄地の復旧や景観改善を行う。

農業生産活動等

農地の耕作・管理
(田 8.7ha、畑 1.3ha)

個別対応

農道・水路の管理

- ・農道 2km、年 2 回
- ・水路 2km、年 2 回

共同取組活動

農地法面の定期的な点検
(随時)

共同取組活動

耕作放棄地の復旧作業

共同取組活動

多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り
(年 2 回)

共同取組活動

景観作物作付け
(景観作物としてコスモスを作付けた。)

共同取組活動

ほたるの里づくり
(景観改善)

共同取組活動

農業生産活動の体制整備

農地法面、水路、農道、通路
橋の補修・改良を行う。
集団的かつ持続的な体制整備
を目指す。

共同取組活動

4. 今後の課題等

集落内での鳥獣被害が年々増加しており、それらに対する対策の防護柵にかかる費用が大きくなっている。

また、協定者の高齢化、担い手不足が深刻化する中、現状をどう維持するかが大きな課題となっており、協定農用地ではないが、集落内で耕作放棄地が増加しつつある。そんな中、少しでも多く耕作放棄地を解消するため、復旧作業を行っているが、作業には大型の重機、多数の人手や膨大な費用を要するため、今後は、協定間の連携や機械・農作業の共同化等も視野に入れて考えなければならない。

他、景観改善の成果として、生き物たちの生態調査等を行うことが出来ればと考えている。

【第 2 期対策の主な成果】

- 耕作放棄地の草刈り
- 鳥獣被害対策
- 景観作物の作付け